

廃棄物処理(4) (2-G-10-4~2-G-11-4)

本セッションはバイオマス利用にかかわる発表である。土木研究所の2件は木質を材料に有機酸発酵の効率化を図ったもので、木質の爆砕によりできるセルロース様の有機物をもとに発酵の効率を測定した。物質収支をとればより明確な実行法が明らかになるであろう。園芸用資材とするためにはフェノール様物質の阻害が問題となるという。コンポストとする指標の明示化が重要となる。北海道大学の2件はバイオトイレにおけるおがくずのpH制御とアンモニア発生抑制のための実態挙動の解明、おがくずの乾燥に寄与する因子が流速であることを実証した。日本環境整備教育センターによる富士山設置のバイオトイレの実態報告は、おがくずへの塩分蓄積が指摘された。

(岡山大学環境理工学部 小野 芳朗)